



福岡県の土地改良

福岡県土地改良事業団体連合会

200

令和5年6月1日



福岡県の土地改良

福岡県土地改良事業団体連合会

200

目次

- 1 会長あいさつ
- 2 第66回 通常総会
- 3 令和4年度 土地改良功労者表彰
- 4 全国水土里ネット 第65回通常総会、第64回全国土地改良功労者等表彰
- 6 令和4年度 第3回理事会
令和5年度 第1回理事会
- 7 令和5年度 第1回監事会及び定期監査
令和5年度 福岡県農業農村整備事業推進対策委員会
- 8 令和4年度 統合整備推進研修(会計研修)
土地改良区複式簿記導入巡回指導
- 9 都道府県水土里ネット等事務責任者会議 [WEB会議]
- 10 土地改良事業団体連合会九州協議会 令和4年度第2回総務担当者的会議
土地改良事業団体連合会九州協議会 事務責任者会議(臨時) [WEB会議]
土地改良事業団体連合会九州協議会 事務責任者会議、会長・事務責任者会議
- 11 土地改良事業団体連合会九州協議会 事務責任者会議(臨時) [WEB会議]
土地改良事業団体連合会九州協議会 令和5年度第1回総務担当者的会議 [WEB会議]
土地改良事業団体連合会九州協議会 第65回通常総会
令和5年度九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会会議
- 12 第18回 水土里のふるさと写真コンテスト 入賞作品
- 14 福岡県ため池管理保全支援センター ～取組状況～
- 15 福岡県ため池管理保全支援センターのご案内
- 16 土地改良農業用施設賠償責任保険のご案内
土地改良施設管理活動中の傷害保険のご案内
- 17 非補助農業基盤整備資金のご案内
土地改良事業に関する助言及び指導
財務管理強化相談等のご案内
- 18 人事(連合会)
令和4年度 退職者、採用職員の紹介
- 20 人事(県)

【裏表紙】 第45回全国土地改良大会 福井大会

〔発行所〕 福岡県土地改良事業団体連合会
福岡市博多区千代4-4-28
TEL 092-642-1881

〔編集〕 総務課

〔表紙〕 第18回
「水土里のふるさと写真コンテスト」
受賞作品の一部を掲載しております



ご挨拶

福岡県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット福岡)

会長 たかき 高木 のりお 典雄

すがすがしい初夏の季節となりましたが、会員の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会の運営につきましては、日頃より特段のご高配を賜りますとともに、農業農村整備事業の推進に多大なご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび4月の理事会において会長を務めることとなりました、うきは市長の高木と申します。皆様のご支援を賜りながら大役を全うできるよう努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

さて、新型コロナウイルス感染症は、5月8日に感染症法上の位置付けが「2類」相当から季節性インフルエンザと同じ「5類」感染症へ移行し、これからは新型コロナウイルスと共生するウィズコロナとして、社会経済活動が平時に戻っていくことが期待されます。

一方、近年の農業農村を取り巻く諸情勢は、ロシアのウクライナ侵攻により、肥料や農薬などの農業生産資材、燃料価格や農事用電力料金の高騰など、我が国の食料安全保障並びに農業に深刻な影響が発生しております。

更に、集中豪雨や台風等の自然災害は、農業だけでなく農地やため池を含む農業用施設に甚大な被害を及ぼしており、また、農村においては過疎化、高齢化に伴う地域活力の減退に加え、農業用施設の老朽化による機能低下により、食料の安定供給や健全な農業・農村の保全への影響が懸念されています。

このような状況の中、食料安全保障強化や国内の食料安定供給を実現するためには、農地の大区画化・汎用化等の農業生産基盤の整備を進め、担い手への農地の集積・集約化を加速するとともに、土地改良区の運営基盤の強化に取り組むことで、農地や農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していかなければなりません。

本会といたしましては、会員の皆様のニーズに応えるため、関係機関と一体となって農業農村整備事業の計画的・安定的な推進に努力して参りたいと考えております。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念いたしますとともに、本会に対して今まで同様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

第66回 通常総会

令和5年2月22日午前10時30分より、水土里ネット福岡5階大会議室において第66回通常総会を開催しました。会員138名が出席した総会には、来賓として九州農政局長の宮崎敏行氏をはじめ、福岡県農林水産部次長の因孝一郎氏、福岡県議会 農林水産委員会委員長の吉武邦彦氏に出席を賜りました。

総会は金子理事の開会のことばで始まり、長年にわたり土地改良事業の推進と発展に功績があった個人に対して表彰を行いました。

議案の審議では、議長に選任された宮ノ陣土地改良区の八尋理事長による議事進行のもと、提出した全ての議案が可決承認されました。決議についても満場の拍手で承認され、田頭理事の閉会のことばで盛会裏に終了しました。



来賓祝辞 宮崎九州農政局長



議事進行

決議

農業・農村は、国の大本であり、安心・安全な食料を安定的に供給するとともに、豊かな国土や自然環境を形成し、潤いある国民生活を支えてきた。これも先人達の農地や農業用施設など地域資源の維持向上に向けた献身的な努力の賜物であり、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。

しかしながら、農業・農村においては、地球規模の異常気象に伴う大規模災害の頻発化、新型コロナウイルスの感染拡大、さらにはロシアのウクライナ侵攻による、肥料や農薬などの農業生産資材、燃料価格や農事用電力料金の急激な高騰により、我が国の食料安全保障並びに農業や地域振興に深刻な影響が危惧されている。更に、集中豪雨や台風等の自然災害は、農業だけでなく農地やため池を含む農業用施設に甚大な被害を及ぼしており、また、農村においては過疎化・高齢化に伴う地域活力の減退に加え、農業用施設の老朽化による機能低下により、食料の安定供給や健全な農業・農村の保全への影響が懸念されている。

このような状況の中、国や県の施策に基づき、農地の大区画化・汎用化等の農業生産基盤の整備を効果的に実施し、担い手への農地の集積・集約化を加速するとともに、土地改良区の運営基盤の強化に向けた土地改良施設の維持管理の省エネルギー化に積極的に取り組むことで、農地や農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していかなければならない。

このような現下の農業・農村を巡る厳しい現状を踏まえ、左記事項について総会の名において決議する。

記

- 一、農業・農村の振興に関する施策を計画的・安定的に行うための農業農村整備事業当初予算の確保
- 一、頻発する自然災害からの復旧・復興に係る財源の確保及び流域治水対策に取り組む農村地域に対する支援
- 一、農業水利施設の適切な保全管理に関する支援及び防災重点農業用ため池の防災工事等に係る予算の確保
- 一、担い手への農地集積の加速化に向け、農地中間管理機構と連携した基盤整備のさらなる推進
- 一、燃料価格や農事用電力料金の急激な高騰への対応など土地改良区の運営基盤強化に対するさらなる支援

令和五年二月二十二日

福岡県土地改良事業団体連合会 第六十六回通常総会

令和4年度 土地改良功労者表彰

表彰された方々 (順不同 敬称略)

〈個人の部〉

【会員の代表者等】



鳥飼西田土地改良区 副理事長
山本 政輝 氏



五徳土地改良区 副理事長
進 正己 氏

【会員の職員】



大石堰土地改良区 総務課長
益永 健次 氏



筑後川土地改良区 水力発電係長
中園 恭将 氏

【連合会の職員】



事業部農村整備1課 係長
松原 理人 氏

第65回 通常総会

全国水土里ネットは、令和5年3月23日（木）午後1時より全国都市会館において、第65回通常総会を開催しました。閉会後は、シェーンバッハ・サボーへ会場を移して午後3時より、全国水土里ネット表彰式が執り行われました。

表彰式では、福岡県より宮若市中土地改良区が全国水土里ネット会長賞（団体表彰）を受賞されました。



二階会長挨拶



議事進行

第64回全国土地改良功労者等表彰



進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問挨拶



宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問挨拶



団体表彰 宮若市中土地改良区

決 議

現在、国際社会は、地球規模の異常気象、新型コロナウイルス、ロシアのウクライナ侵略、世界的な物価高騰など、歴史を画するような様々な問題に直面している。

また、我が国の農業・農村も、人口減少の波が都市に先行して強く押し寄せ、農業従事者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理や営農の継続が困難になるなど、様々な問題に直面している。さらに、燃料価格の上昇に伴う電力料金の高騰は、用排水機場等を管理する土地改良区にとって死活問題となっている。

命を支える食料の確保は、国内外の情勢いかににかかわらず後回しにできない国民ニーズであり、食料安全保障の確立の観点から、我が国の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければならない。

そのためには、食料・農業・農村基本計画、土地改良長期計画及びみどりの食料システム戦略の実現に向け、農地の大区画化・汎用化等の整備とその集積・集約化、スマート農業やGXの展開に向けた基盤整備、農業水利施設等の維持・更新を適時適切に行い、農業を魅力ある産業として担い手に引き継いでいくことが極めて重要である。加えて、ため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、令和4年7月及び8月の豪雨災害に代表されるように、豪雨や地震が頻発しており、国民の生命と財産を守るためにも、洪水被害防止対策やため池の耐震化などの農村地域の防災・減災対策の推進を通じた国土の強靱化が極めて重要である。

令和4年9月、政府は、農政の根幹である食料・農業・農村基本法について、世界的な食料情勢や、気候変動、海外の食市場の拡大等の今日的な課題に対応していくため、制定後約20年を経て初めて、その見直しに向けた検討を開始した。

土地改良に関係する制度については、平成29年、30年、令和4年に土地改良法が改正され、また、令和元年に「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が、令和2年に「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」がそれぞれ施行され、諸課題に対応するための措置の充実が図られてきたところであるが、基本法の検討に合わせて更に必要な見直しや施策の拡充を行い、農業・農村の振興を図っていくことが極めて重要である。

このような状況の中、水土里ネットには、食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を健全な状態で次世代に継承していく責務がある。併せて、国民の生命と財産を守るため、農村地域の防災・減災対策等の国土強靱化を継続的に推進していくことが求められている。このため、水土里ネットが有する技術、経験など持てる能力を最大限に発揮すべく、引き続きその体制強化を図っていく必要がある。

土地改良関係予算については、「闘う土地改良」の旗印の下、組織を挙げて様々な活動を行った結果、令和4年度第二次補正予算、令和5年度当初予算を合わせて、全国の要望を満たす6,134億円を確保することができた。水土里ネットは、この予算を活用し、農業・農村の発展に向け、国が示した農政の展開方向を踏まえ、男女共同参画を推進しつつ積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

全国の水土里ネットは、培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンの下、一致団結して、次の事項の実現を図ることを総会の名において決議する。

記

- 一 土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二 食料・農業・農村基本法の見直しに当たっては、次の観点に留意して必要な規定を盛り込むとともに、関連する制度や事業・支援の一層の充実を図ること。
 - (一) 農業の競争力強化や、国産農産物の増産による輸入農産物からの置換え等を図っていくため、「農地の区画の拡大」や排水改良による「水田の汎用化」が引き続き重要であること。
 - (二) 農業用水を安定的に確保するため、「農業用排水施設の機能の維持増進」が引き続き重要であり、さらに、頻発する突発事故等を踏まえ、「農業生産の基盤の整備」に加えて、農業生産の基盤の保全管理が重要となっていること。
 - (三) 豪雨災害や大規模地震のリスクを踏まえ、農業・農村の防災・減災対策の強化が重要となっていること。
 - (四) 中山間地域等直接支払のみならず、基本法制定後に法定化された多面的機能支払が、農地・農業用水の維持等を図る上で重要な役割を果たしていること。
 - (五) 農業の生産基盤の整備及び保全管理に関する技術の開発及び普及が重要であること。
 - (六) 土地改良区は、食料生産に不可欠な農地・農業用水の整備・維持管理という公共的役割を果たしており、食料安全保障の強化に向けて、運営体制の強化を図る必要があること。
- 三 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル化など、事務手続の効率化等に向けた取組を推進すること。
- 四 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 五 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進するとともに、燃料価格や電力料金が高騰する状況下においても安定的な用水供給等が可能となるよう対策を推進すること。
- 六 ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進すること。
- 七 主として中小規模の土地改良区を対象とした合併など、土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 八 流域治水の取組推進に当たっては、関係する農業水利施設の管理者や田んぼダムに取り組む農業者に過度な負担や責任が生じないよう配慮すること。
- 九 水田活用の直接支払交付金の見直しに伴う水田の畑地化を進めるに当たっては、現場の実情を踏まえ、引き続き必要な措置を講ずること。
- 十 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。



令和4年度 第3回理事会

日時：令和5年1月13日(金) 午前10時30分～

場所：水土里ネット福岡 5階大会議室

本会は、福岡県農林水産部農村森林整備課の山崎課長、管理係の衣川係長同席のもと、令和4年度第3回理事会を開催しました。提出された議案は慎重に審議され、いずれも原案どおり可決承認されました。

【議事】 第1号議案 令和4年度 上半期監査報告について
第2号議案 第66回通常総会について



令和5年度 第1回理事会

日時：令和5年4月3日(月) 午後4時00分～

場所：水土里ネット福岡 5階大会議室

本会は、福岡県農林水産部農村森林整備課の吉富参事補佐兼管理係長同席のもと、令和5年度第1回理事会を開催しました。提出された議案は慎重に審議され、原案どおり可決承認されました。

【議事】 第1号議案 福岡県農業農村整備事業推進対策委員会の委員委嘱について





令和5年度 第1回監事会及び定期監査

日時：令和5年3月27日(月) 午前11時00分～ 場所：水土里ネット福岡 4階役員会議室

本会は、令和5年度の円滑な業務運営を図るため第1回監事会及び定期監査を行いました。監事会では、下記のとおり提出した内容について審議を行い原案どおり承認されました。引き続き行った定期監査では、関係帳簿並びに金銭出納処理は適正に処理されていることが確認されました。

- [議事] 第1号議案 総括監事の互選について
第2号議案 この会の代表に関することについて
第3号議案 令和5年度の監事会及び監査計画について



令和5年度 福岡県農業農村整備事業推進対策委員会

日時：令和5年5月29日(月) 午後3時00分～ 場所：水土里ネット福岡 4階会議室

本会は、令和5年度の福岡県農業農村整備事業推進対策委員会を開催しました。本委員会は、農業農村整備事業を実施中の市町村・土地改良区等が委員となり、県内における農業農村整備事業等を推進し、地域の振興開発・農村環境の向上改善に資することを目的としています。

委員会では、下記の事項について協議を行い、福岡県農村森林整備課の久富課長技術補佐より農業農村整備事業の情勢報告について説明がありました。

- [議事] (1) 福岡県農業農村整備事業推進対策委員会の委員長・副委員長の互選について
(2) 令和4年度 福岡県農業農村整備事業推進対策委員会の活動報告について
(3) 令和5年度 福岡県農業農村整備事業推進対策委員会の活動計画について
(4) 農業農村整備事業の情勢報告について





令和4年度 統合整備推進研修(会計研修)

日時：令和4年12月20日(火) 午前10時30分～

場所：水土里ネット福岡 5階大会議室

本会は、全国水土里ネット主催の令和4年度統合整備推進研修(会計研修)を開催しました。

今回の研修では、複式簿記導入後の財務諸表等の作成手続きや単式簿記方式を継続して貸借対照表を作成する方法等について、全国水土里ネットより説明を頂きました。



全国水土里ネット支援部 田中主幹の講義



全国水土里ネット支援部 野崎主任の講義



土地改良区複式簿記導入巡回指導

平成31年4月1日に土地改良法が改正され、原則として土地改良施設を管理する全ての土地改良区において、令和4年度から決算関係書類として、貸借対照表の作成及び公表が義務づけられました。このことを踏まえて、本会では昨年度に引き続き「土地改良区体制強化事業」により土地改良区における複式簿記会計の円滑な導入を推進するため、土地改良区に出向き「巡回指導」を実施していくこととしています。巡回指導の実施にあたり、関係機関の皆様方には、ご理解とご協力をお願いいたします。



隈上土地改良区



八女地区土地改良区



都道府県水土里ネット等事務責任者会議 [WEB会議]

日時：令和5年1月6日(金) 午後1時00分～

場所：水土里ネット福岡 4階会議室

全国水土里ネット主催の都道府県水土里ネット等事務責任者会議がWEBで開催され、下記の事項について協議がなされました。

- 【議事】 (1) 令和5年度農業農村整備予算(政府原案)について
(2) 食料・農業・農村基本法の見直しについて



都道府県水土里ネット等事務責任者会議 [WEB会議]

日時：令和5年2月22日(水) 午後1時30分～

場所：水土里ネット福岡 4階会議室

全国水土里ネット主催の都道府県水土里ネット等事務責任者会議がWEBで開催され、下記の事項について協議がなされました。

- 【議事】 (1) 通常総会提出議案について





土地改良事業団体連合会九州協議会 令和4年度 第2回総務担当国会議

日時：令和5年1月18日(水) 午後1時30分～

場所：沖縄県那覇市 市町村自治会館

土地改良事業団体連合会九州協議会は、令和4年度第2回総務担当国会議を開催し、九州協議会会議日程等について、九州・沖縄各県から提出された議題についての協議を行いました。



土地改良事業団体連合会九州協議会 事務責任者会議(臨時) [WEB会議]

日時：令和5年1月23日(月) 午後1時30分～

場所：水土里ネット福岡 4階会議室

土地改良事業団体連合会九州協議会は、事務責任者会議(臨時)をWEBで開催しました。

会議では、「かんがい排水用電力(高圧)の制度の見直し」に関する報告について、都道府県土連ブロック代表事務責任者会議の内容について、九州協議会会議日程等についての協議が行われました。



土地改良事業団体連合会九州協議会 事務責任者会議 会長・事務責任者会議

日時：令和5年3月16日(木)

午後3時00分～(事務責任者会議)

午後4時10分～(会長・事務責任者会議)

場所：佐賀県佐賀市 グランデはがくれ

土地改良事業団体連合会九州協議会は、事務責任者会議、会長・事務責任者会議を開催しました。

事務責任者会議では、令和5年度九州協議会政策提案要請項目について、第64回全国土地改良功労者等表彰審査結果について等の協議が行われ、会長・事務責任者会議では、国・全土連からの情勢報告がありました。





土地改良事業団体連合会九州協議会 事務責任者会議(臨時) [WEB会議]

日時：令和5年4月13日(木) 午後2時00分～

場所：水土里ネット福岡 4階会議室

土地改良事業団体連合会九州協議会は、事務責任者会議(臨時)をWEBで開催しました。

会議では、政策提案項目等についての協議が行われました。



土地改良事業団体連合会九州協議会 令和5年度 第1回総務担当者的会議 [WEB会議]

日時：令和5年4月14日(金) 午前10時00分～

場所：水土里ネット福岡 4階会議室

土地改良事業団体連合会九州協議会は、令和5年度第1回総務担当者的会議をWEBで開催しました。

会議では、九州協議会総会提出議案についての協議が行われました。



土地改良事業団体連合会九州協議会 第65回通常総会

日時：令和5年4月26日(水) 午後3時00分～

場所：水土里ネット福岡 5階大会議室

土地改良事業団体連合会九州協議会は、第65回通常総会を開催し、令和4年度事業報告並びに収入支出決算の承認、令和5年度負担金の額並びに徴収方法について、令和5年度事業計画並びに収入支出予算、役員改選等の議案について協議を行いました。



令和5年度九州農業農村整備事業推進協議会・ 土地改良事業団体連合会九州協議会会議

日時：令和5年4月26日(水) 午後4時30分～

場所：水土里ネット福岡 5階大会議室

九州農業農村整備事業推進協議会と土地改良事業団体連合会九州協議会は、提案要請活動実施日、提案内容等について協議を行いました。



第18回

水土里のふるさと 写真コンテスト



最優秀賞(福岡県知事賞)



「少年たちと金色の帰路」 清川 健司 氏(撮影:糸島市)



優秀賞(福岡県土地改良事業団体連合会長賞)



「共同作業」 桧枝 広美 氏(撮影:うきは市)



「稔の絶景」 舍川 孝吉 氏(撮影:うきは市)

第18回 水土里のふるさと写真コンテストは令和5年1月13日に審査会を行い147点の応募作品の中から入賞作品18点を選出しました。

また、令和5年度も第19回写真コンテストの応募作品を募集していますので皆様のご応募をお待ちしています。



入選(福岡県土地改良事業団体連合会長賞)



「夜のざわめき」 安岡 義之氏 (撮影:朝倉市)



「棚田を見守る」 林 良子氏 (撮影:苅田町)



「暁の穂並」 中島 正氏 (撮影:うきは市)



「美味しくな一れ!」 中野 政重氏 (撮影:八女市)



「芳春」 東 保彦氏 (撮影:みやこ町)



佳作(西日本新聞社・西日本写真協会賞)



「春耕の始まり」
平島 尚実氏
(撮影:苅田町)



「麦秋」
氏名非公表
(撮影:小郡市)



「収穫」
鐘ヶ江 春雄氏
(撮影:八女市)



「耕起」
武内 一郎氏
(撮影:福岡市)



「水田の夏始まる」
平井 精一氏
(撮影:朝倉市)



「7月の水田」
大石 信幸氏
(撮影:八女市)



「我等も収穫」
高橋 恒夫氏
(撮影:北九州市)



「調子は上々」
久米 正美氏
(撮影:みやこ町)



「体験(次世代)」
川崎 順子氏
(撮影:糸島市)



「田植の早乙女たち」
山本 和弘氏
(撮影:太宰府市)



福岡県ため池管理保全支援センター～取組状況～



福岡県ため池管理保全支援センターは、民間の農業用ため池管理者に対し、日常管理における助言・現場技術指導、現地パトロール（管理状況調査）、普及啓発などを行い、ため池管理の質を高め、適切管理の促進と整備の加速化を図ることを目的とし、令和2年4月に開設されました。

ため池管理保全支援センターの活動

ため池管理保全支援センターでは、管理者から相談を受け、専門技術者が助言や技術的指導を行う【助言・現場技術指導】、民間管理の農業用ため池を対象に管理状況の調査を行い、堤体や取水・排水施設等に変状がないかを確認する【現地パトロール（管理状況調査）】、様々な状況を想定した適切な管理方法についての講義・研修会を行う【普及啓発活動】を行っています。

普及啓発活動の中では、各市町村の民間のため池管理者に対して、日常的な管理や、緊急時の対応方法などを講義する『ため池管理研修』を行っています。ご要望に応じた研修会を開催させていただきますので、当センターまでご相談ください。



【助言・現場技術指導】



【現地パトロール（管理状況調査）】



【普及啓発活動】

ため池管理保全支援センターのホームページのご案内

当ため池センターでは、ホームページを公開しています。

前述の活動内容に加え、これまでに行われた「ため池設計工事研修会（行政向け）」の動画視聴や、「県内ため池マップ」「ため池マニュアル」「ため池見回りチェックシート（簡易版）」「各種ため池に関する書類の様式」等の入手が可能です。

今後ともため池に関する様々な情報を公開していきますので、是非ご活用ください。



福岡県ため池管理保全支援センターのご案内

福岡県ため池管理保全支援センターは、ため池管理者様の疑問等にお答えする相談窓口を設置し、専門技術者による助言や現場技術指導を行っております。

また、ホームページも開設しており、「ため池点検マニュアル」「簡易版見回りチェックシート」に加え、「各種研修会の動画」も配信しております。

今後も、ため池に関する様々な情報を公開していきますので、是非ご覧ください。

福岡県 ため池管理保全支援センター

～ため池を管理する皆さんの疑問や相談にお応えします～

助言・現場技術指導

現地パトロール

普及啓発

ため池管理者の方の相談窓口

毎週 **月・水** 曜日

< 祝日、休日、年末年始は除く >

(午前) 9:00 ~ 12:00 (午後) 1:00 ~ 4:00

☎ (092) 642-1590

- ◆ ご相談にお越しの際には、事前に電話で予約をお願いします。
- ◆ 電話でのご相談の際には、
 - ① ため池の所在地
 - ② ため池の名称
 - ③ ため池コード をお知らせください。
(ため池コードは市町村にお問い合わせください)
- ◆ ため池管理者以外の方は市町村担当窓口へお問い合わせください。

福岡県ため池管理保全支援センター
(福岡県土地改良事業団体連合会)

「ため池研修動画」YouTubeにて配信中!!



福岡県ため池管理保全支援センター

Q 検索



ため池点検
マニュアル



簡易版
見回り
チェックシート



福岡県ため池管理保全支援センター

Reservoir maintenance support center FUKUOKA





土地改良農業用施設賠償責任保険のご案内

～いざという時のお守りとして保険に加入できます～

◆この保険の主旨

この保険は、農業用排水路、道路、溜池、頭首工の所有者である市町村、土地改良区等が、所有、使用または管理する施設・設備に起因して生じた偶然な事故、または、業務の遂行によって生じた偶然な事故により、第三者に身体障害や財物損壊を与えた場合に、法律上の賠償責任を負担することによって被る損害を保険金としてお支払いします。

- 保険期間／1年間
- 契約者／福岡県土地改良事業団体連合会
- 加入対象者(被保険者)／福岡県土地改良事業団体連合会の会員の皆様

※加入依頼書にご記名・ご捺印のうえ、用排水路、道路、溜池、頭首工の明細書及び位置図(保険加入対象部分を朱書)を添えてお申し込みください。
また保険料につきましては、お申し込み時にお支払いください。

◆保険料及び保険金額のご説明

保 険 期 間 1 年				
保険の目的	用排水路	道 路	溜 池	頭 首 工
保険料	1kmあたり 1,500円	1kmあたり 1,000円	周囲1kmあたり 3,200円	1箇所あたり 2,000円
補償内容	保 険 金 額 (お 支 払 い 限 度 額)		免 責 金 額 (自 己 負 担 額)	
身体賠償 (人身事故の場合)	1名……………1億円 1事故……………3億円		無し	
財物賠償 (物損事故の場合)	1事故…1,000万円		無し	

※保険の目的ごとに算出した保険料の10円未満は四捨五入します。
※会員様ごとの最低保険料(保険の目的ごとに算出した保険料の合計額)は10,000円となります。
※過去5年以内に保険請求された会員は別途保険料を提示いたします。

お問い合わせ 総務部 総務課(本部) TEL 092-642-1881



土地改良施設管理活動中の傷害保険のご案内

◆補償される事故

土地改良区等の施設管理活動作業に従事する人が、職務に従事している間(職務遂行場所への通勤途上を含みます。)に偶然な事故によりケガをされた場合、保険金の請求ができます。

保険料(令和5年4月現在の一例)

[被保険者明細を省略・20名未満の場合]

プラン	死亡・後遺障害	入院日額	通院日額	保険期間	1人あたりの保険料
A-6	300万円	3,000円	1,000円	6ヶ月	4,370円
A-12	300万円	3,000円	1,000円	12ヶ月	8,740円
B-6	500万円	4,000円	2,000円	6ヶ月	7,440円
B-12	500万円	4,000円	2,000円	12ヶ月	14,890円

お問い合わせ 総務部 総務課(本部) TEL 092-642-1881



非補助農業基盤整備資金のご案内

土地改良区等が国からの補助を受けずに、かんがい排水やほ場整備、客土などの事業に取組み、農業生産基盤の整備・保全の推進を図る場合、(株)日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対して低利で融資する資金です。

なお、国の補助対象でない県または市町村単独による補助事業についても融資の対象となります。

●貸付限度額 複数年にわたる事業の場合、各年度とも土地改良区が当該年度に負担する額までとなっています。(ただし、融資は1件当たりの最低額は50万円となっています。)

なお、農業集落排水事業では、一部施設ごとに限度額を設定しています。

●貸付金利 (固定金利) 非補助一般 融資期間にかかわらず 0.8% (5月18日現在)

●償還期限 最長25年間(据置期間10年以内を含む)になっており、事業内容に応じて設定できます。

ご相談・
お問い合わせ

●県農林事務所(農村整備第一課)

●市町村役場

●農業協同組合

●福岡県信用農業協同組合連合会(融資営業部) TEL 092-711-3561

●(株)日本政策金融公庫 福岡支店(融資第二課) TEL 092-451-1780

●福岡県土地改良事業団体連合会(農村整備1課) TEL 092-642-1890



土地改良事業に関する助言及び指導

本会では、土地改良区等に対して以下のような事案についての助言・指導を行っています。

1. 土地改良事業に関する苦情、紛争への対応
2. 土地改良事業計画の作成、工事の実施に関する助言、指導
3. 事業主体の組織運営上の問題に関する助言、指導
4. 土地改良施設の管理に関する助言、指導
5. 農業水利に関する助言、指導
6. 土地改良法に関する指導
7. 換地処分その他農用地集団化に関する指導
8. その他

定期相談日

毎月1回(第3水曜日)開設しています。(祝日の場合はその翌日)
緊急の場合は、開設日以外でも随時行っています。

窓 □

●農村整備1課(本部) TEL 092-642-1890

●農村整備2課(北部事務所) TEL 0930-22-3655

●農村整備3課(南部事務所) TEL 0942-53-2294



財務管理強化相談等のご案内

本会では、土地改良区等に対して以下のような事案についての相談窓口を設置しています。

1. 複式簿記会計の導入
2. 外部監査の導入
3. 非補助土地改良事業の推進活動
4. その他会計経理の課題

ご相談・
お問い合わせ

総務課経理係(本部) TEL 092-642-1884

福岡県土地改良事業団体連合会

令和5年度 福岡県土地改良事業団体連合会 職員配置名簿(職員45+嘱託9=54名)

事務局	部	部長・次長	課(事務所)	課長(所長)	課長補佐	係
事務局長 木戸 剛 (54)	総務部 (18)	兼部長 木戸 剛	総務課 (本部) (13)	長部 孝洋	森山 賢史 藤本 貴之	総務企画係
						経理係
						会員支援係
	事業部 (35)	部長 鶴田 政伸	情報管理課 (本部) (5)	川口 和典	上田 圭	情報管理係 (水土里情報センター)
			農村整備1課 (本部) (14)	佐竹 省悟	三谷 竜一	農村整備1係
						農村整備2係
						農村整備3係
						(ため池管理保全 支援センター)
			農村整備2課 (北部事務所) (5)	今永 和弘	池上 明行	農村整備係
			農村整備3課 (南部事務所) (4)	八田 光生	伊藤 充裕	農村整備係
			換地測量課 (本部) (11)	大濱 真喜 推進機構(出向) 吉武 正宏	古賀 敬士	換地1係
						換地2係
						調査測量係

令和4年度 退職者 ～今まで大変おつかれさまでした～



廣田 由美 氏(総務課長補佐)

令和5年度 職員配置表

(令和5年4月1日現在)

係 長	主 査	主 任	技師・主事	技師補・主事補	嘱 託
兼務 藤本 貴之		吉村 恵			(参与) 近藤 壽
兼務 森山 賢史			古賀香奈美		(参与・企画指導専門員) 岩田阿佐美
兼務 藤本 貴之	星野須美香		宮崎 正勝 熊谷 茜		(企画指導専門員) 廣田 由美 大草 光子 臼杵 順子
兼務 上田 圭	氏家 俊一	神田 憲章		荒木隆之介	
松原 理人	江頭 淳	本田 崇		野中 明	(技術指導専門員) 田村 勝俊
廣瀬 由樹			後藤 建貴	西本 善喬	
萩尾 誠			吉田 昌史 江島菜々子		(技術指導専門員) 仲 秀樹
兼務 廣瀬 由樹			兼務 後藤 建貴	兼務 西本 善喬	
高橋 由夏	岩本 龍二			横澤彦之祐	
兼務 伊藤 充裕			梶山かえで		(技術指導専門員) 與田 博徳
兼務 磯田 正臣	肥後 瑠依			佐野 尚代 (試用職)	
磯田 正臣	楠本 仁志		島 佑成		(技術指導専門員) 門畑 浩次
今村 浩章	甲斐田 圭				



令和5年4月1日付 採用職員紹介



換地測量課
さの ひさよ
佐野 尚代

この度、事業部換地測量課に配属されました佐野尚代と申します。前年度まで嘱託として当課に所属しておりました。今年度より新たな気持ちで業務に取り組んで参りたいと思います。不慣れなことも多々ございますが、新しいことに挑戦し、経験を積み、少しでも貢献できるように努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和5年度 福岡県農林水産部関係課

部長 重吉 俊二郎

次長 田中 領
次長 中馬 俊介

	課 長 等	補 佐 等	係 長 等
農林水産政策課	副理事兼課長 徳田 輝光 副課長 柴田 裕治 企画監 外園 浩人 参事 木村 健二	課長補佐 西川紀和視	総務係長 大内田 英昭
		企画広報主幹 宮崎 真行	予算・重点第一係長 (本課長補佐)
		企画主幹 東 幸太郎	兼予算・重点第二係長 福島 亘
			予算・重点第三係長 松岡 由樹
			兼企画広報係長 中川 弘幸
			研究調整係長 宮沢 淳子
農山漁村振興課	課長 山口 聡 企画監 吉田 昌浩 検査監 酒井 龍典 検査監 渡邊 勝廣	課長補佐 竹市 りか	兼中山間地域振興係長 堤 智博
		課長技術補佐 大谷 勇樹	技術管理係長 (本検査員甲・永吉)
		検査員甲 村上 浩 永吉 剛志	入札係長 (本検査員甲・村上)
			計画調整係長 崎村 禎彦
			兼森林計画係長 安藤 祐治
			森林保全係長 後藤 正光
農村森林整備課	課長 山崎 一徳 副課長 那波 毅 企画監 渡邊 芳親	課長技術補佐 久富 輝良	農村総務係長 大塚 まゆみ
			兼管理係長 吉富 勝年
			基盤整備係長 北野 晶子
			農村整備係長 河内 良文
			農地保全係長 木下 浩基
			治山係長 坂本 信康
			兼林道係長 市原 祐輔
水産振興課	参事 松本 隆浩		漁港整備係長 永野 洋
水田農業振興課		課長技術補佐 三笥 修三	農村集落係長 持尾 理恵子
環境部 廃棄物対策課			施設第一係長 古野 輝
県土整備部 水資源対策課			計画係長 中山 隆
監査委員事務局 監査第二課			監査主査 東 克治
推進機構 (出向)			農地利用調整戦略室長 岡部 聡
朝倉市杷木支所 (出向)			農地改良復旧室係長 寺田 真喜

役付職員配置表

(令和5年4月1日現在)

	所長・副所長	課長・出張所長	係 長 等					
福岡農林	所長 宇都宮 剛 副所長 横山 彰	総務 宮本 みづえ	庶務(補佐) 筒井 明子	会計 上川 みゆき				
		農山村振興 三浦 誠司	地域振興 富田 耕平	農地 井原 亜樹				
		農業振興 吉田 健美	農産・金融 河口 道功	園芸・食の安全 平田 朋也	畜産(参補) 近藤 裕隆			
		農村整備第一 高倉 修二	管理 坂井 孝司	参事補佐 山本 誠二郎	計画 下島 洋一			
		農村整備第二 安東 利幸	整備第一 磯部 裕二	整備第二(参補) 富田 輝彦	整備第三 村本 耕平			
		林業振興 角 達朗	林業振興 渡邊 康司	普及(参補) 田中 卓				
		森林土木 高橋 滝夫	治山第一 後藤 秀昭	治山第二 水田 隆英	林道(参補) 梶原 慎二			
朝倉農林	所長 古賀 央 副所長 堀 正和	総務 深山 輝之	庶務(補佐) 岩橋 神奈子	会計 藤野 千秋				
		農山村振興 飯田 邦博	地域振興 吉次 陽子	農地 馬場 信之				
		農業振興 佐々木 真二	農産・金融(補佐) 吉田 博孝	園芸・食の安全(参補) 松尾 昭彦	畜産(参補) 東 尚子			
		農村整備第一 堀下 久	管理(補佐) 古賀 清美	参事補佐 上村 茂一	計画(参補) 瀬口 優子	災害事業 木村 徹		
		農村整備第二 富田 陽一	整備第一 山本 寛	整備第二(参補) 渡辺 敬	用地 稲永 さと子			
		農村整備第三 吉田 浩二	副長(参補) 宇津 正司					
		林業振興 本田 昌幸	林業振興(補佐) 占部 達也	普及 大井手 絵里子				
		森林土木 福田 哲也	治山(補佐) 神崎 功	林道(参補) 甲斐 武浩				
八幡農林	所長 因 孝一郎 副所長 関 康弘	合所ダム 藤井 憲一						
		総務 永田 富美代	庶務(補佐) 林 史子	会計 沖西 正樹				
		農山村・農業振興 木村 伸二	地域振興・農地(補佐) 野田 和美	農産・金融(参補) 手島 里香	園芸畜産・食の安全 内川 美由紀			
		農村整備 松本 匡浩	管理・計画(補佐) 上妻 英夫	整備(参補) 西村 和哲				
		林業振興 阿蘇品 典男	林業振興(補佐) 中村 宏一	普及 坂本 住夫				
飯塚農林	所長 佐伯 亮俊 副所長 酒見 洋子 参事 中村 正伸	森林土木 坂本 義文	副長 井上 甲子郎					
		総務 肘井 真一	庶務 池本 桂子	会計 大屋 敦宏				
		農山村振興 高田 富太郎	地域振興(参補) 北島 敬也	農地 宮崎 秀幸				
		農業振興 大森 宏志	参事補佐 林 恵子	農産・金融 大野 恵子	園芸・食の安全 渡邊 生子	畜産(参補) 中田 茂伸		
		農村整備第一 中山 雅夫	管理 藤井 亜紀子	参事補佐 鶴 高雄	計画(参補) 泉 篤史			
		農村整備第二 後藤 俊実	整備第一 溝上 直紀	整備第二(参補) 野田 賢吾				
		林業振興 佐藤 庸一	林業振興(補佐) 後藤 篤	普及 岡本 誠次				
筑後農林	所長 池田 芳和 副所長 前田 陽一	森林土木 小嶋 龍一	治山 松原 孝明	林道 甲斐 竜一				
		総務 神代 康弘	庶務(補佐) 松本 和裕	会計 松熊 康典				
		農山村振興 徳永 優子	地域振興 平田 祐子	農地 中園 賢二				
		農業振興 國武 みどり	農産・金融 田中 有理	園芸特産・食の安全 江藤 博文	畜産 浅岡 壮平			
		農村整備第一 空閑 秀行	管理(補佐) 溝口 真也	参事補佐 田中 浩一	計画 野田 直樹			
		農村整備第二 原 康	整備第一 土井 博文	整備第二(参補) 石田 正博	整備第三(参補) 沖本 知俊			
		農村整備第三 井上 幹生	整備第一(参補) 宮本 茂徳	整備第二 江頭 仁				
		林業振興 川浪 博之	林業振興 河口 修	普及(参補) 尾前 尚哉				
行橋農林	所長 島川 義隆 副所長 松本 忠之 参事 大内田 俊彦	森林土木 田中 晃志	治山(参補) 岩田 守	林道(参補) 田代 敦雄				
		総務 古戔 聡美	庶務(補佐) 隈井 靖子	会計 藤井 元				
		農山村振興 高島 英司	地域振興(参補) 片山 清美	農地 大和 尚子				
		農業振興 道家 聖堂	参事補佐 田中 紀子	農産・金融 柳田 慶子	園芸畜産・食の安全(参補) 松尾 太			
		農村整備第一 瓜生 修	管理 塚田 亮太	計画 井上 孝行				
		農村整備第二 宮原 康隆	整備第一(参補) 池之上 武	整備第二(参補) 町 武久				
		林業振興 園田 義之	林業振興(補佐) 本田 晴政	普及 鷹野 宜則				
農地開発事務所 筑後川水系	所長 佐々木 清隆 副所長 家中 庸壽 参事 岩崎 賢吾	森林土木 渡邊 丈二	治山 武藤 清二	林道 斉藤 健次郎				
		庶務 川島 基伸	副長 田中 美穂					
		工務 小森 繁	計画(参補) 田中 豪					
			工事 野口 善彦					

「水土里」がある

「幸福」がある

「笑顔」がある

～ ふくいで語る土地改良の未来～

第45回 全国土地改良大会

 **福井大会**

2023.10.11(水) サンドーム福井

【主催】  全国土地改良事業団体連合会 福井県土地改良事業団体連合会

 **福岡県土地改良事業団体連合会**
新しい農業・農村の環境づくりを支援し、都市と農村の共生を目指します。

水土里ネット福岡
ホームページへのアクセス
携帯はこちらから



＜九州ロゴマーク＞
九州・山口各県と経済界で定めた「九州」のマークです



本部 〒812-0044 福岡市博多区千代4丁目4番28号
TEL 092-642-1881
FAX 092-642-1886
<http://mnf21.com>

農村整備2課 (北部事務所) 〒824-0005 行橋市中央1丁目8番7号
TEL 0930-22-3655
FAX 0930-22-3282
E-mail:hokubu@mnf21.com

農村整備3課 (南部事務所) 〒833-0041 筑後市大字和泉 640番1
TEL 0942-53-2294
FAX 0942-53-2742
E-mail:nambu@mnf21.com